

病院紹介

総合病院国保旭中央病院



■ 新本館外観

1953年の開院から59年、総合病院国保旭中央病院は、千葉県東部ならびに茨城県南部を含む診療圏人口100万人の基幹病院として、毎日約3,000人の外来患者様にご利用いただいています。

2006年に開始した再整備事業の主軸ともいえる新本館が2011年3月に竣工し、5月より稼働を開始しました。新本館ではアメニティと効率性の向上が図られ、高耐震性の基幹災害医療センター、最新の情報ネットワークを備えたインテリジェントホスピタルとしてその機能を一新しました。

また、地域医療ネットワークの拠点としての地域医療連携支援病床33床



■ 外観夜景

の増床、救命救急センターの機能的配置、血管内治療用のハイブリッド手術室の新設、40床の化学療法センターの配置、高度先進医療機器の更新・新規導入などさまざまな機能の充実を図り、地域住民および保健・医療・介護・福祉関係者の期待に応える体制を整えました。

2012年3月には、国の地域医療再生計画の一環として、千葉県・千葉大学との協働による「地域医療支援センター」が開設され、地域医療再生の推進ならびに地域の医療従事者の育成・研修の役割を担っています。加えて、4月には総合病院内の神経精神科としては全国トップレベルの施設と機能を持つ「こころの医療センター」も開設され、地域の精神医療の向上に寄与しています。



■ 航空写真全景

総合受付



玄関車寄せ



メインエントランスホール



デジタルサイネージ



■ラウンジスペースからホスピタルモールを望む

JR東京駅八重洲口および浜松町駅からの高速バスが、朝夕上下5本ずつ正面玄関に乗り入れ、千葉県内はもちろんのこと、県外からの患者様も来院しやすくなっています。

自然光を取り入れた広々としたメインエントランスホールには総合受付、院内コンサートやイベントに利用できるラウンジスペースなどがあり、突き当たりには順路の案内やお知らせなど、来院者に最新の情報を提供するためのデジタルサイネージを設置しています。また、ホールに続くホスピタルモールは、吹き抜けとガラスカーテンウォールにより明るく開放的に設計され、壁面には地元旭市出身の画家・椎名保氏の描き下ろしの絵画が飾られています。



■患者様の平安を祈って5階屋上に設置された佐藤忠良氏作の母子像「榮像」

患者図書室

NPO「医療の質に関する研究会」提供の患者図書室。同NPOが提供する図書室のなかで利用者数全国一を誇っている。



しおさいホール



最大350名を収容できる多目的な「しおさいホール」。セミナーや式典などさまざまな用途に利用されるほか、ホール内8カ所に医療用ガスを備え、災害などの緊急時には臨時病棟として機能する。

24時間応需の救命救急センターの充実

救急受付



365日24時間、初期から三次までの救急に対応、年間の救急患者数は約60,000人に上ります。当院の救命救急センターは千葉県の救急コーディネ

ネット事業の中核として、受け入れ先のない救急患者の受け入れも行っています。

救急外来とCT, MRI, 血管造影室や手術室を機能的に配置して、緊急検査や緊急手術にもより迅速に対応できるようになりました。年間救急患者8万人時代に対応できるように手術室を15室に増やし、各室のスペースも拡張しました。脳外科を中心とした血管内治

療のために、アンギオ装置と手術台を組み合わせたハイブリッド型の手術台も取り入れました。また、高度医療機器を導入、スタッフの充実を図り、救急からの入院患者はすべて救急病棟に収容するためのベッドを用意するなど、救急医療に関し、万全の態勢を整えました。

ハイブリッド手術室



アンギオCTのある血管造影室



救命救急病棟



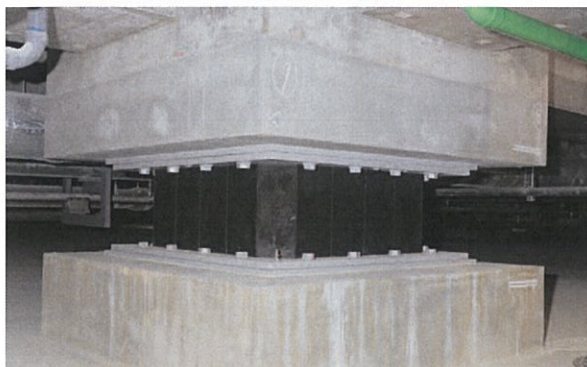
基幹災害医療センターの充実

建物全体を免震構造にすることで高耐震性を確保し、大地震時にも平時と同じレベルの医療機能の提供を可能としました。

構内に設置されているヘリポートからのアクセスを短縮して、重傷者の受け入れ・搬出が短時間に可能な

体制を整えました。

また、大災害時の自家発電機能の強化、地下水の浄化利用等災害対応インフラを整備し、千葉県指定の基幹災害医療センターとして我が国の災害医療に貢献する体制が強化されました。



■ 東総地域の病院で初めて取り入れた免震構造



■ 2台設置した非常用ガスタービン発電機

高度急性期医療とがん診療拠点機能の充実

一部の外来・病棟を除いて本館に診療機能を集約しました。1階に医事関係、救命救急センター外来、整形外科外来、画像診断部門、入退院センター、お薬お渡し窓口等を。2階に内科外来、内視鏡室、エコー室、採血室、生理検査部門、一般検査室、臨床病理科。3階に化学療法センター、管理部門、研修医室、多目的ホール等。4階には中央手術室、救急病棟、集中治療室、血管造影室などが配置されています。5階から11階までの病棟部門は臓器別に集約化を図り、外科系と内科系の連携が円滑になるように配置されています。

救命救急センター、画像診断部門、中央手術室、病

棟が集約されたことにより、効率化と相まって高度な医療がより安全に提供できるようになりました。

当院は地域がん診療拠点病院でもあり、PET導入などによりがんの早期発見を推進し、内視鏡手術の導入や放射線治療施設の拡充により先進医療を提供しています。

また、外来化学療法センター、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟などにより、包括的ながん診療機能の充実を図りました。

本館に新設された化学療法センターには、ベッドとリクライニング椅子を合わせて40床を設置しています。



■ 診察室26室、説明室8室が整備された内科外来



■ 外の景色を眺めながら治療が受けられる化学療法センター



■ 血液検査、生理機能検査、一般検査などが一箇所に集約された

周産期部門の充実

ハイリスクなお産に迅速に対応できるよう、産科病棟とNICUを集約。ハイリスクの母胎搬送、分娩管理、ハイリスク児の集中管理が効果をあげ、当地域の周産期医療の充実に貢献しています。



■ 特殊分娩室



■ NICU

入院環境の充実



■ 4床室

患者様が治療に専念し、早く回復できるよう入院環境を整備。4床室は間仕切り家具で仕切ってプライバシーを尊重し、増設した個室はアメニティを向上させています。家族や見舞客も利用できるデイルームは明るく広々としてリラックスできます。食事はそれぞれの料理を最適な温度で提供できるよう、調理済み料理を急速冷蔵し、配膳前にICカートで再加熱する「ニュークックチル方式」を採用しています。



■ 個室



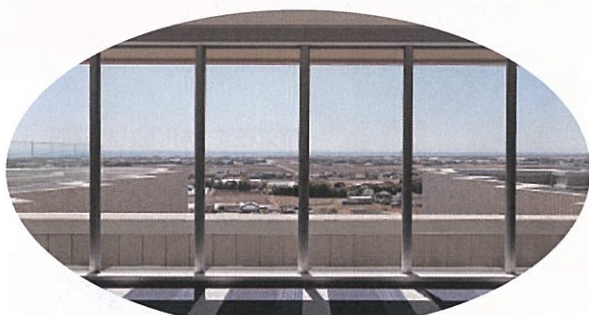
■ 南側に配置され、ベッドから外房の海が見渡せる特別個室



■ 効率的な動線を確保するために「井形」に設計された病棟の中央にあるスタッフステーション



■ デイルーム



■ 外房の海はもちろん、晴れた冬場には富士山も望める展望ラウンジ



■ 栄養科厨房



■ 急速冷蔵した料理を冷温保管するカートプール

こころの医療の充実

児童学習室



木工陶芸室



神経精神科の開設は1965（昭和40）年ですが、2012年4月には、これまでのこころの医療についての知識と経験を集積した「こころの医療センター」を開設しました。あらたに児童精神の外来と入院ユニットを整備し、子どもからお年寄りまで一貫した診療をしています。また、患者様の地域移行を推進する観点から、訪問看護ステーションを併設しています。



音楽プログラムも行われるホール



訪問看護ステーション「旭こころとくらしのケアセンター」外観

フロア案内

階	機能
12	展望ラウンジ
11	11階東病棟 (眼科・形成外科・皮膚科・歯科口腔外科) 11階西病棟 (血液内科・耳鼻咽喉科)
10	10階東病棟 (消化器内科) 10階西病棟 (小児科)
9	9階東病棟 (消化器内科・外科) 9階西病棟 (外科)
8	8階東病棟 (脳外科・救急救命科) 8階西病棟 (神経内科・アレルギー膠原病内科・総合診療内科・糖尿病代謝内科)
7	7階東病棟 (整形外科・心臓外科) 7階西病棟 (循環器内科・心臓外科)
6	6階東病棟 (呼吸器内科・総合診療内科・アレルギー膠原病内科) 6階西病棟 (泌尿器科)
5	5階東病棟 (産科) NICU/GCU 5階西病棟 (婦人科・外科)
4	中央手術室 救命救急センター 血管撮影室 薬剤部、化学療法センター、中央洗浄滅菌室、厨房、SPD倉庫、ME、リネンセンター
3	しおさいホール（大講堂）、幹部諸室、医局・図書室、厨房
2	内科外来、内科処置室、中央採血室、超音波検査、内視鏡、生理検査（脳波、呼吸器、心電図）、検体検査、臨床病理科
1	総合受付・会計、放射線科、整形外科外来、救急外来、入院センター、薬局窓口、エネルギーセンター、霊安室

地域医療支援・連携拠点機能の充実

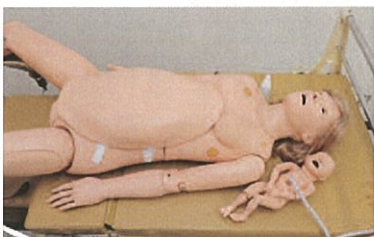
2009（平成21）年に国が各都道府県に対して呼びかけた、「地域の医療課題の解決に向けた医療圏単位での医療機能の強化、医師確保への取り組み」の一環として、2012年3月に千葉県ならびに千葉大学と協働で、院内に「地域医療支援センター」を開設しました。同センターには「地域医療連携ユニット」「診療支援タスクフォース」「臨床研究支援ユニット」「教育ユニット」の4つが設置され、医師・看護師等、医療を担う人材を育成・確保することを通じて、近隣病院への医師派遣、地域医療連携、臨床研究支援、教育支援を行っています。

教育ユニット内の『スキルセンター』にはさまざまな医療シミュレーターを整備しています。

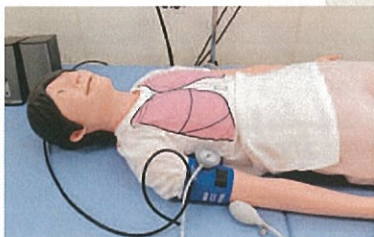


模擬病室

気管支・消化器内視鏡シミュレーター



高度分娩シミュレーター



フィジカルアセスメントモデル



呼吸器聴診シミュレーター

総合病院国保旭中央病院

[基本理念]

～すべては患者様のために～

私たちは地域の皆様の健康を守るために、常に研鑽に努め、医学的にも経済的にも社会的にも適正な模範的医療を提供します。

[基本方針]

- 皆様の満足と信頼が得られる病院をめざします。
- 患者様の権利と尊厳を尊重いたします。
- 十分な説明と納得（インフォームドコンセント）に基づく診断と治療を実践します。
- 常に安全に配慮した医療環境の実現に努めます。
- 予防医学からリハビリテーションまで包括的な医療を提供します。
- 保健・医療・福祉・介護の連携強化に努めます。
- 時代の要請に応じた最高水準の医療が提供できる病院づくりに努めます。
- 他の医療機関との密接な連携のもとに、地域の医療水準の向上に努めます。
- 全ての救急医療（初期救急から救命救急まで）をいつでも提供します。
- 医療従事者の教育・研修に努めます。
- 国際標準化機構が定めた質マネジメントシステムの要求事項に適合した医療の実現と継続的改善に努めます。

病院の概要

- **名 称** 総合病院国保旭中央病院
- **所 在 地** 〒289-2511 千葉県旭市イの1326番地
- **電話・FAX** 電話 0479-63-8111（代表） FAX 0479-63-8580
- **ホームページ** <http://www.hospital.asahi.chiba.jp/>
- **開設年月日** 昭和28年3月1日
- **病 院 長** 吉田 象二
- **診 療 科 目** 内科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 血液内科 腎臓内科 糖尿病代謝内科 神経内科 感染症内科 化学療法内科 人工透析内科 アレルギー科 リウマチ科 緩和ケア内科 消化器内視鏡内科 小児科 新生児内科 外科 心臓血管外科 整形外科 脳神経外科 形成外科 産婦人科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉科 皮膚科 麻酔科 リハビリテーション科 歯科 歯科口腔外科 神経精神科 放射線科 救急科 臨床検査科 病理診断科
- **病 床 数** 総病床数 989床
一般 763床（内 NICU 9床・小児入院医療管理病棟(2) 45床・救命救急センター 30床 特定集中治療室 4床・緩和ケア病棟 20床）
精神 220床（内 精神科救急病棟 60床・精神療養病棟 28床） 感染 6床
- **職 員 数** 医師 244名（臨時職員含む）、看護師 849名、その他 843名
計 1,936名 （平成24年6月1日現在）
- **建 物 概 要** 新本館 鉄筋コンクリート造 免震構造 地上12階・塔屋1階
延床面積 54,938㎡
総建物延床面積 181,715㎡
敷地面積 172,402㎡